

ふじしろ政夫二期目への決意

4月12日の千葉県議会議員選挙におきましては、10,003票（得票率33.7%）という皆さまからの心温かいご支援ご支持を賜り県議会へお送りいただきました。身も心も引き締まる思いです。

“無所属・立憲主義・市民派”として皆様と市民の大きなうねりを起こし千葉県政を変えていきたい、その市民自治の政治で国のありようをも変えていきたいの一念で頑張りました。

文字どうり大きな組織もない、それだけにしがらみもなく、市民の思いを訴えることができました。

「無所属・ふじしろ政夫」の当選は、“市民”の皆さまの勝利であり、この鎌ケ谷から“自ら決定する市民自治”の勝利を勝ち取ったと思っております。

問題は目の前に山積。ふじしろ政夫は“市政と県政のパイプ役”として十二分に働きたいと決意しております。

高齢社会における地域医療・介護・福祉の地域包括ケアシステムを一日も早くつくっていかねばなりません。

「子どもの育っていく権利」を確立していく為の、産科、小児科の医療整備に始まり保育所整備、子どもが希望を持てる教育行政の実施も待ったなしです。

県道整備、信号機設置、二和川の洪水対策としての大柏川第二調節池の完成にむけ市民の声を県に強く届けたいです。

「脱原発社会」を宣言し、再生可能エネルギーの街づくりを進めていきます。と同時に、原発事故に係る子どもの健康診断・チェックを大人の責任として一日も早く実施させます。

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県（鎌ケ谷市）づくりを更に推進し共生社会をつくりましょう。

三番瀬のラムサール条約登録はなんとしても実現し、そして印西の“そうふけっぱら”を保全し生物多様性の豊かな千葉県をつくっていききたいです。

国全体の課題でもある格差と貧困（子どもの貧困率16.3%）の解消へ、そして分かち合いの経済の構築を実現していく必要があります。

共通番号制、特定秘密保護法、集団的自衛権行使（憲法違反）の為の法整備に対して、又オール沖縄県民が反対している辺野古の新基地建設に、反対！NO！と地域から市民の声をあげていかねばなりません。

「一人一人の個人の尊厳を大切にす地域社会」をつくっていく中から、未来へ希望の持てる政策を一つ一つ実現していく決意です。

*公職選挙法により当選御礼の文章が出せません。決意の一端を述べさせていただきます。